



やまがたBOSQUEの会

活動地：山形県山形市

団体紹介：BOSQUE（ボスケ）とは、スペイン語で森という意味です。山林等自然資源を楽しく有効活用する活動を通して、生活スタイルの提案や、人と人との繋がりづくり、未来につながる食・住・環境作りを目指している団体です。

活動内容

活動名：地域に眠る資源の有効活用のためのワークショップ

開催日時：令和3年9月25日（日） 11月20日・11月23日・12月18日（予定）

場所：村木沢地区内竹林、村木沢コミセン

参加人数：18人（9月25日）

目的及び概要：地域にある竹林を使い、竹を使って様々な活動することによって、竹の利用価値に気づくとともに、自分でもものをつくり遊ぶ感性を養う。ひいては、郷土愛を育むことを目的としています。昨年度までは、竹を使った工作等を行っていましたが、今年度は竹炭を作る予定です。9月に竹を伐採し、窯に入れる長さに切りそろえ、割りました。11月に作成した窯に火を入れて、竹炭作りに挑戦する予定です。また、12月には竹炭で工作を行う予定です。

活動写真（9月25日の模様）



伐採した竹林の様子



竹割り器で竹を割る



竹を30センチに切ります。



天気も良く作業がはかどります。



協力して竹を切ります。



割った竹が積み上がりました。

活動を行っての感想

今年で活動を行って5年目になります。今年も昨年同様、新型コロナウイルス感染症の影響下での活動となりました。対象年齢を絞り、少人数制での開催となりました。少人数なので、アットホームなリラックスした雰囲気での活動となりました。今までは、竹の伐採と、竹の工作を中心とした活動でしたが、今年は竹炭を作るという新たな活動に取り組んでいます。まず、9月は竹を伐採し、竹炭の材料となる竹を切って割って乾燥させる作業を行いました。大人も子供も楽しく安全に活動することができてよかったと思います。この活動が、竹林の存在を見つめ直すよい機会となってくれたら主催者としては最高です。今後も、自然とふれあいながら、自然に学び・遊ぶ機会が作れたらと思います。